

北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべき^{をひる}との決議を求める請願 請願書

要旨 京都府長岡京市議会において、「北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべき」との決議を求めます。

理由 北陸新幹線の敦賀以西ルートについては、平成 29 年 3 月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが、「工期・工費・費用対効果」等の点から優位であるとして、小浜・京都間を大深度地下において長大トンネルで掘り進む小浜・京都ルートに決定しました。

ところが、その小浜・京都ルートは、昨年 8 月に開かれた与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、資材費高騰や人手不足が影響し、概算事業費が当初試算から 2 倍以上の最大 5.3 兆円にも膨らみ、工期も 15 年から最長 28 年に伸びることが国土交通省から報告され、ルート検討時の着工に係る前提条件に大幅な変更が生じました。

この試算に従えば、沿線自治体である京都府の事業費負担額も大幅な増加が見込まれます。それによって、新幹線建設以外の公共工事が減少し老朽インフラの改修や更新等に支障をきたすのみならず、教育や福祉・産業支援など広範多岐に渡る京都府の施策が縮小あるいは劣化をし、長岡京市の市民生活にも大きな悪影響が懸念されると存じます。

また、駅建設予定地の京都市においても、大深度地下における長大トンネル工事による地下水への影響、地上の陥没事故、膨大な建設発生土の処分、その運搬に伴う交通渋滞等に対する市民の不安が日に日に大きくなり広がってきている現状ではないでしょうか。

更に、工期の大幅延長が予想される中で、石川県など北陸地方からも小浜・京都ルートの見直しを求める声が上がってきています。

既に小浜・京都ルートは、京都府にも北陸地方にも、そして国家全体にとっても望ましいものではないことは明白であります。

京都府長岡京市議会において、「北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべき」との決議を求めます。